

年間授業計画様式例

〇〇高等学校令和4年度 教科〇〇科目〇〇 年間授業計画

教科： 外国語 科コミュニケーション英語Ⅱ：単位数：4単位

対象学年組： 第2学年A組～G組)

教科担当者：

使用教科書： (Mainstream Communication English Ⅱ 増進堂)

使用教材： (ノンプレ英語長文速読 美誠社/All ears basic 美誠社

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<p>Chapter 1 英語とアジア言語それぞれの数字の捉え方の感覚の違いについての記述に関して、予習で概要を理解する。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しい部分の理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	6

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>Chapter 1 それぞれの言語の数字の捉え方の具体的違いに関しての記述に関して、予習で概要を理解する。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Chapter 2 暗号を使用しない情報秘匿の例を読み取らせる。特定の文字のみ抽出する情報の秘匿方法を読み取らせる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7月</p> <p>・1940年当時のリトアニア共和国の実情を理解させる。外交官としての杉原の立場と外務省とのやりとりを読み取らせる。杉原の決断が家族に与えるリスクを読み取らせる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Chapter 4 筆者の父親がタイル遊びで教えたかったことは何か、恐竜の大きさを現実のものとしてどのように教えたかを読み取らせる</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。 ②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。 ②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p>	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>それぞれの言語の数字の捉え方の具体的違い に関しての記述に関して、予習で概要を理解 する。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例 を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。 ②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。 ⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を 用いる。 ②ノート・ワークシートによ る予習の確認をする。 ③小テスト・ペアでの評価を 活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用 ワークシート等を活用する。 ⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活 用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Chapter 5「残りの90%のためのデザイン」の活動が起こった理由とその活動内容を理解させる。多くのデザイナーの関心がどのように変化してきているのかを理解させる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>Chapter 6 ・具体的な事例を通して、人は何かをしていると待ち時間を短く感じ、ストレスを感じにくくなることを理解させる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Chapter 7 アユムというチンパンジーが、どういう点において「賢い」のかを考えさせる。アリストテレスやデカルトたちの考えを理解させる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Chapter 8 紀元前2300 年頃に西洋と東洋の交流が始まった事実を理解させる。200 年に及ぶ鎖国政策終了後の変化を読み取らせる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Chapter 9 予備知識として、蜂が植物の生態系にどのような影響を与えているのかを調査させる。アメリカ国内にいる養蜂家が抱えている問題が何かを理解させる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	<p>Chapter 10 パブロ・カザルスの生い立ちからチェロとの出会いを読み取らせる。人々がカザルスの演奏するバッハを聴いてなぜ衝撃を受けたのかを理解させる。</p> <p>語彙・表現を導入、定着する。</p> <p>各言語での数字の理解の仕方の違いの具体例を読む。</p> <p>音声を活用し、理解の深化・定着に努める。</p>	<p>①初回の読解で辞書なしで概要をつかむよう徹底する。</p> <p>②そのうえで細部についての理解を辞書等を用いて進めるよう指導する。</p> <p>③小テスト・ペア活動などにより語彙の確実な定着を進める。</p> <p>④音声による復習を実施し、既習部分の理解・締約を進める。</p> <p>⑤得た知識をもとにしながら、新しいパートの理解を進めていく。</p> <p>⑥多彩な音読活動によりアウトプットの力をつけていく。</p>	<p>①巻末のQ/Aなど概要理解を用いる。</p> <p>②ノート・ワークシートによる予習の確認をする。</p> <p>③小テスト・ペアでの評価を活用する。</p> <p>④フレーズリーディング用ワークシート等を活用する。</p> <p>⑤英問英答などを活用する。</p> <p>⑥音読用ワークシート等を活用する。</p>	8